



人生は、まだまだ素適になる。

ロングライフホールディング株式会社



ロングライフホールディング株式会社 (4355:JASDAQ)
代表取締役社長 遠藤 正一

各位

平成 30 年 9 月 20 日

9 月 20 日発行の日本経済新聞に中国における 事業について記事が掲載されました

9 月 20 日(木)発行の日本経済新聞に、当社の連結子会社であるロングライフ国際事業投資株式会社が、中国で行う事業について記事が掲載されました。中国における合弁会社は、中国青島で 2020 年に着工し、2025 年に完成予定の約 3,000 室となる最大規模の高齢者住宅を運営する予定です。

日本国内の大手介護企業が相次ぎ中国事業の拡大に動いています。その背景として、日本の人口減少と中国の急速な高齢化があります。国連の推計では、2015 年に 1 億 3 千万人だった中国の 65 歳以上の人口が 2025 年に 2 億人、2040 年に 3 億人を突破し、人口に占める 65 歳以上の割合は 2036 年に「超高齢社会」とされる 21%になる見込みです。また、中国政府は 2013 年に介護分野への民間参入を促し始め、2020 年をメドに介護保険制度の導入を目指しています。その中で、介護保険制度下で高度化した「日本式」の介護サービスを、現地のニーズと上手く組み合わせることでサービスを提供していくことが求められています。

ロングライフグループは、会社のサービス理念を基に海外においても「人生はまだまだ素適になる。」をモットーに、様々な研修を通してサービスの質を高め、お客様に寄り添った人生の楽しみ方をご提案してまいります。



中国で運営している老人ホーム 左：新華錦長楽国際頤養中心 右：櫻桃谷

【本件に関する問い合わせ】

ロングライフホールディング株式会社 広報室

TEL:06-6373-9191/FAX:06-6373-9197

<http://www.longlife-holding.co.jp/>